

作成日 2004年8月5日

改訂日 2012年7月5日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: フェロモンのフェロモン剤
会社名:  富士フレーバー株式会社
住所: 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目5の8
担当部門: エコモン事業部
担当者: 西野 順子
電話番号: 042(555)5186
FAX番号: 042(555)7920
整理番号: 120705

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
一般名: フェロモンのフェロモン剤(性フェロモン剤と食物誘引剤)

成分及び含有量

(1) 合成昆虫性フェロモン剤と(2) 食物誘引剤とから成る製品である。

(1) ①(E)-2-ノネノール(CAS No.31502-14-4、官報公示整理番号2-258)

②(E)-2-ノネノール(CAS No.18829-56-6、官報公示整理番号2-258)

(2) ①ゲラニオール(CAS No.106-24-1、官報公示整理番号2-258)

②オイゲノール(CAS No.97-53-0、官報公示整理番号3-637)

この性フェロモン剤は、2種のフェロモンをプラスチック製のディスクにしみ込ませフィルムを被せた製剤であり、これらのフェロモンは製品重量の2.0%(①1.98%、②0.02%)に相当する。

この食物誘引剤は、2種の食物誘引物質を粒状のプラスチックにしみ込ませ、それらをプラスチックのボトルに入れた製剤であり、これらの誘引物質は製品重量の12~14%(①6~7%、②6~7%)に相当する。

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性: 通常の手扱いで有害性は低い。
物理的及び化学的危険性: 引火性物質を含む。
分類の名称: 分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合: 被災者を直ちに直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くしてよ横向きに寝かせ、身体の保温に努める。応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合: 石鹼で充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合: 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合: 口をすすぎ、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。無理にはかせてはいけない。応急措置を施した後、速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤： 水噴霧、砂、粉末、二酸化炭素、粉末等。
消火方法： 消火剤を火元へ放射、散布等して消火する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護： 消火作業では、状況に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起ささないように注意する。
二次災害の防止策： 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： 火気に注意する。
取扱い後は充分に手洗いする。
保管： 火気、直射日光を避け、風通しのよい涼しい場所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 特になし。
保護具： 特になし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 外観： 性フェロモン剤：上部を透明フィルム及び下部を茶色の紙で覆われた白色ディスク
食物誘引剤：プラスチックボトルに入った粒状プラスチック
臭い： 特有の臭気
引火点： —
比重： —
沸点： —
溶解度： —
その他： —

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 通常の条件下では、安定である。
反応性： 特記すべき反応なし。
危険有害な分解生成物： 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

11. 有害性情報

特記すべき有害成分は含んでいない。

12. 環境影響情報

特記すべき情報はない。

13. 廃棄上の注意

使用済み製品、容器、包装等は、関係法規や地方自治体の条例に従って適正に処分する。
処理施設がない等の理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

火気に注意する。

15. 適用法令

該当なし。

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先: エコモン事業部 電話番号 042-555-5186

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。